

令和6年度(2024年度)第8回 卒業証書授与式



来賓席側より



保護者席側より



卒業生退場



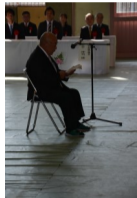
校長式辞



卒業証書授与



卒業生入場



答辞



7名の卒業生



送辞



卒業生退場



卒業生あいさつ



保護者代表あいさつ



卒業生入場



ゆうなぎ

岱志高校
定時制だより



令和6年度
第5号
編集・発行
熊本県立
岱志高等学校
定時制課程

地域の未来を担う人材に

校長 寺田 憲司



卒業生のみなさん、卒業おめでとう。四年間、学業はもちろんのこと様々な場面で定時制を盛り上げ、本当によく頑張りました。生徒諸君一人一人いろんな思いをもって、この岱志高校定時制に入学してくれたことと思います。この四年間でその思いは叶えられたでしょうか。私が見る限り、みんなとても大きく成長したと確信しています。毎日登校して、勉学に励む。周りのみんなを思いやり、気遣い、コミュニケーションをとる。そして、みんながよりよい充実した学校生活が送れるようにお互いに協力しながら、盛り上げ、学校を活気づけてくれました。それも働きながら、働きながら学ぶという二足のわらじをしっかりとやり遂げました。この取組はきつと後輩たちに継承されていくことと思います。

さて、これから新たなステージへと進みます。この四年間を頑張ることができた自分に自信と誇りを持ち、常にいろんなことにチャレンジしてください。君たちの更なる成長が楽しみです。働くことは自分が社会の一員であること、地域貢献すること、そして、地域の未来を担うことにつながります。そんな社会人になって活躍してくれることを願っています。

定時制教頭 古川 小百合



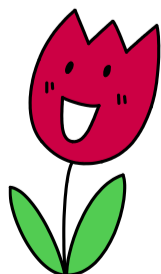
ご卒業おめでとうございます。

みなさんが定時制高校で過ごした日々は、決して平坦な道ではなかったかもしれません。「働きながら学ぶ」ことの大変さは、経験したみなさんが一番実感していることだと思います。登校する姿を見る中で、仕事で日に焼けた姿、疲れている姿、仕事が遅くなっても頑張る姿、そんなみなさんのひたむきな姿を目にしている胸が熱くなりました。学業と仕事を両立させることは、強い意志と努力なしにはできないことです。この経験は、これからの人生において大きな力となるでしょう。

卒業は新たなスタートです。みなさんがこれからの人生を自分らしく、充実したものにしていくよう、心から応援しています。これまで支えてくださった家族や先生方への感謝を忘れず、新しい未来へと羽ばたいてください。

みなさんのこれからのご活躍を、心よりお祈り申し上げます。

四年次担任 野本 憲作



年度当初、四年生の七人がなかなか教室に全員そろわなくて、みんな一緒に卒業できるのかと心配していました。しかし、なんだかんだあつて七人そろって卒業することになりました。よかったです。今となっては、なんだかんだもいい思い出です。私にとっていい思い出と言えるのは、やはり卒業生の皆さんの人柄に拠るところが大きかったと思います。ありがとうございます。そして、ご卒業おめでとうございます。

※「なんだかんだ」…そこまで深刻なことではありません。

四年次副担任 甲斐 惇雄



ご卒業おめでとうございます。この四年間様々なことがあったなか、よくここまで頑張りましたね。卒業後も同じで、きつと多くの困難があることでしょう。ただ、忘れてはいけないのが、どんなにきついことでも必ず終わりが来るということです。映画でもハッピーエンドの前には主人公が大ピンチが訪れます。困難の先に必ず幸せな時が訪れると信じて、何が起ころうが力強く生きて下さい。

